

人間発達学部
IYANAGA Keiko
PROFILE
<b>職名</b> 人間発達学部 英語コミュニケーション学 科助教
<b>学歴</b> テンプレ大学大学院教育学 英語教授法博士課程修了 (2006)
<b>学位</b> 英語教育学博士 (テンプレ 大学、2006)
<b>所属学会</b> 大学英語教育学会 (JACET)、 大学英語教育学会 (JACET) リーディング研究会、全国 語学教育学会 (JALT)
<b>専門分野</b> 英語教育学 (TESOL)、第 二言語習得 (SLA)

# 弥永 啓子

いやなが けいこ

研究課題1 ● 語彙の習得と第二言語メンタルレキシコンの発達

## 業績

### 【学術論文】

- 「L2 リーディングにおける未知語の処理と付随的学習の過程」/『大学英語教育学会 関西支部紀要』第5号、1999年5月、単著。
- 「Request Realization Patterns of Japanese EFL Learners: The Degrees of Imposition on the Request Patterns of Intermediate and Pre-intermediate Learners」/『Temple University Japan Working Papers in Applied Linguistics: Pragmatics』Vol.16、2000年1月、共著。
- 「The Use of Backchannels and Reactive Expressions in Intercultural and Intracultural Communications」/『言語文化学会論集』第15号、2000年10月、共著。
- 「読解における未知語の処理と付随的学習」/『英語リーディングの認知メカニズム』(門田修平・野呂忠司編)、くろしお出版、2001年4月、共著。
- 「Effects of L1 and Learning Experience on L2 Word Associations」/『Bulletin of Research Institute for Foreign Language Education, Kyoto Tachibana Women's University』Vol.10、2002年2月、単著。
- 「EFL Learners' Receptive Knowledge of Derivational Suffixes」/『Bulletin of Research Institute for Foreign Language Education, Kyoto Tachibana Women's University』Vol.11、2003年2月、単著。
- 「ALC NetAcademyの効果的利用に関する考察」/『京都橋大学研究紀要』第32号、2006年1月、単著。
- 「Determinants of EFL Learners' Derivational Suffix Knowledge」/Doctoral dissertation, Temple University. 2006年8月、単著。
- 「Morphological Information in Dictionaries」/『English Lexicography in Japan』(JACET 英語辞書研究会：石川慎一郎、南出康世、村田年、投野由紀夫編)、大修館書店、2006年12月、単著。
- 「大学生の英語学習動機因子の因果関係を探る—リスニングを対象とした予備調査の分析から—」/『京都橋大学研究紀要』第33号、2007年1月、単著。
- 「大学におけるTOEIC対策：2007年度前期実践報告と今後の課題」/『京都橋大学研究紀要』第34号、2008年1月、単著。
- 「英単語親密度を利用した語彙力診断テストの有効性の検証—大学における日本人初～中級英語学習者の受容語彙習得レベルのより良い記述を目指して—」/『京都橋大学研究紀要』第36号、2010年1月、単著。

### 【その他】

- <事典>『応用言語学事典 (小池生夫編集主幹)』/「反応時間」「語彙力と言語運用」「付随的語彙学習メカニズム」「語彙処理モデル」「音韻表示」「意味表示」「正書法表示」、研究社、2003年4月、共著。